



開物成務

楽しかったPTA行事～オンライン大ビンゴ大会～

11月12日（金）にPTA主催による「PTAバザープレゼント！！オンライン大ビンゴ大会」が行われました。「コロナ禍においても子どもたちのために何かできないか」とPTA執行部、総務委員会の皆さんが中心となり考え、開催して下さったイベントです。

ビンゴ大会は、密にならないように「各教室で」「Zoomを使って」行われました。まず始めは「低学年の部」、次に「中学年の部」、そして最後は「高学年の部」でした。子どもたちが十分楽しめるようにとの工夫と、配慮がちりばめられていて、楽しい時間を過ごすことができました。ご尽力いただきました皆さんありがとうございました。



ICT支援員さんに来ていただいています

昨年度に引き続き、ICT支援員さんに来ていただいています。（郡山市の施策）ICT機器の準備や授業のサポートをしていただいています。支援員さんのおかげでロイロノートやタブレットドリルの活用、プログラミング学習などをスムーズに行うことができます。写真は「レゴマインドストーム」を使っての授業（5年生）の様子です。11月12日（金）のビンゴ大会でもサポートいただき大変助かりました。



一 中学区学校保健委員会開催～メディア接触による子どもの心身への影響～

11月11日(木)郡山第一中学校区の学校保健委員会がZoomを使用して、オンライン開催されました。薫小、柴宮小、大成小、郡山一中、そして開成小の参加です。2年ぶりの開催となりました。

テーマは「郡山市立第一中学校区の子どもたちの心身の健康について考える～メディア接触による子どもの心身への影響 2年次～」です。

委員会では、まず、開成小養護教諭より、保護者の方を対象とした携帯・スマホ等に関するアンケート調査結果を説明した後、NTTドコモの講師の方から、携帯・スマホの危険性について、具体的な事例をもとにお話しいただきました。その後、学校医、眼科医の方からご助言いただき、最後に各学校から感想・質問等が出されました。今のネット社会において、携帯・スマホは欠かせないものになりつつありますが、同時に危険性もあること、子どもが被害に遭わぬよう、学校、家庭で取り組んでいくことが必要であることを改めて感じました。学校では情報モラル教育を学年に応じて実施して参りますが、特に重要なのはご家庭での取り組みです。お子さんを守るために、お子さんが自分自身を守れるようにするために、携帯・スマホについて使用の約束などの話し合いをよろしく願います。委員会の詳細は、後日お知らせいたしますが、その中のいくつかを紹介します。

- 使用を始める時は、段階的にネットリテラシーを高めていくことが重要である。(保護者と一緒に→制限して→自分の責任で) そのためにもフィルタリングを活用する。(保護者の責務)
- 子どもと話し合ってルールを作る。
 - ・ 目的・リスクについて話し合う。
 - ・ なぜルールが必要なのか理解させる。
 - ・ ルール違反があった場合、どうするか事前に決めておく。
 - ・ ルールを少しずつ見直す。
 - ・ 相手の家にもルールがあることを理解させる。
 - ・ なにかあったら必ず保護者に相談する。
- SNS等の短い言葉のやりとりは、誤解を生みやすい。実際に会って話すような配慮が必要で、悪口は書き込まない。
- 子どもだけでなく、保護者も歩きスマホをしない、SNS等での発信等に十分気を付けるなど、大人が範を示すことを心がける。
- スマホを夜に長時間使用すると睡眠を促すメラトニンの分泌が抑制され脳が覚せいして不眠につながる。
- ゲームに夢中で勉強がおろそかになり、夜眠れないなど日常生活に支障をきたせば依存症といえる。医学的にもメディアとの接触時間は30分～1時間ぐらいが適切と考える。
- ブルーライトは目にとって紫外線をあびるのと同じような状況である。
- 小学生から中学生の頃は多くのことを吸収できる多感な時期。読書により先人たちの教えのつまった書物にふれることは大切だと思う。小学生の頃から読書習慣を身に付けることは、問題解決につながるかもしれない。
- 部活などの活動を一生懸命にやっている子はゲームなどに夢中になることは少ないようだ。なにか打ち込んでやれるものを見つけるのも大切なのではないか。

